

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式 9-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23986報)

2022年 9月13日 12時01分

内閣総理大臣、原子力規制委員会、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日11時02分頃、増設ALPS(C)「クロスフローフィルタCスキッド2漏えい」警報が発生し、現場確認を実施したところ、11時30分頃協力企業作業員が水溜まりを発見しました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見時刻 11時30分頃 ・発生場所(設備名称) 増設ALPS(C) ・漏えい箇所 確認中 ・発見者 協力企業作業員 ・漏えい範囲 約3m×3m×深さ1mm ・拡大防止処置 漏えいした水は堰内に留まっている ・漏えい継続の有無 確認中 ・外部への影響 なし <p>現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23987報)

2022年 9月13日 12時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第23986報でお知らせした、増設ALPS(C)における水溜まりを発見について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見時刻 11時30分頃 ・発生場所(設備名称) 増設ALPS(C) ・漏えい箇所 増設ALPS(C)点検開放している弁 ・発見者 協力企業作業員 ・漏えい範囲 約3m×3m×深さ1mm ・拡大防止処置 点検開放している弁に閉止フランジの取り付けを実施 ・漏えい継続の有無 なし ・外部への影響 なし <p>今後、準備が出来次第、拭き取りを実施する予定です。</p> <p>【公表区分：C統】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

13

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23988報)

2022年 9月13日 14時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [9月13日11時00分現在] ・サブドレン等 分析結果 [採取日 9月12日] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 9月12日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 9月12日] ・構内排水路 排水路流量と分析結果 [採取日 8月26日~9月1日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 9月8日、9月12日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 8月17日、9月12日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクHの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、9月14日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 9月9日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年9月13日 11:00現在

【照会事項】
各計測値については、異常やその他の異常状態の発生を察知して、異常の検出警報条件を
設定しているものもあつ、正しく測定されていない可能性のある計測値も存在している。
プラントの状況表参照するにため、このよう注釈欄の注釈が各計測値によりあつ、各計
測値の注釈欄から得られる情報を参照して計測の傾向にも留意して結果的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.4 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 3.4 m ³ /h	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 28.0 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 26.9 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 27.5 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 35.8 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 37.6 °C	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 32.5 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 32.3 °C	
原子炉格納容器 内温度	HMH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 27.6 °C HMH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 27.5 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 36.2 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HMH2-16B (TE-16-114G#1): 36.0 °C	PCV温度 (TE-16-002): 30.4 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 32.1 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.16 kPa g	3.81 kPa g	0.45 kPa g	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.19 Nm ³ /h (JP-A): 14.66 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h	RPV-A: 6.46 Nm ³ /h RPV-B: 6.38 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h	RPV-A: 8.06 Nm ³ /h RPV-B: 7.98 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 非気流量	20.2 m ³ /h	14.27 Nm ³ /h	19.77 Nm ³ /h	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol%	A系: - vol% B系: 0.03 vol%	A系: 0.09 vol% B系: 0.09 vol%	
原子炉格納容器 放射線濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 7.19E-04 検出限界値 4.49E-04 B系: 指示値 8.81E-04 検出限界値 3.69E-04	A系: 指示値 - 検出限界値 - B系: 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01	
使用済燃料プール 水温度	31.8 °C	31.0 °C	※5	※5
FPC 炉内冷却 水位	3.74 m	2.22 m	- m	66.8 X100mm ※6

【計測値の注釈】
※1: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。0.00vol%の値は、計測器によりマイナスを表示される場合があること。
※2: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。0.00vol%の値は、計測器によりマイナスを表示される場合があること。
※3: 指示値がマイナスの場合は0.00Nm³/hと記載する。0.00Nm³/hの値は、計測器によりマイナスを表示される場合があること。
※4: 指示値がマイナスの場合は0.00Nm³/hと記載する。0.00Nm³/hの値は、計測器によりマイナスを表示される場合があること。
※5: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。0.00vol%の値は、計測器によりマイナスを表示される場合があること。
※6: 指示値がマイナスの場合は0.00mと記載する。0.00mの値は、計測器によりマイナスを表示される場合があること。

2/13

2022年9月13日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン等 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2022/09/12 08:25	< 6.0E+00	< 8.5E+00	1.5E+02
2号機サブドレン	2022/09/12 07:12	< 1.5E+01	5.0E+01	2.3E+03
3号機サブドレン	2022/09/12 07:57	< 3.8E+00	< 3.3E+00	< 4.9E+00
4号機サブドレン	2022/09/12 08:20	< 4.8E+00	< 4.7E+00	< 5.6E+00
5号機サブドレン	—	—	—	—
6号機サブドレン	—	—	—	—
槽内深井戸	—	—	—	—

・核種の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<)：小なり)は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

4/13

2022年9月13日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/09/12 08:20	< 4.8E+00	< 4.7E+00	< 5.6E+00
プロセス主建屋北東	2022/09/12 08:30	< 4.8E+00	< 5.0E+00	< 5.3E+00
プロセス主建屋南東	2022/09/12 08:45	< 5.5E+00	< 4.6E+00	< 4.9E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/09/12 08:50	< 4.8E+00	< 5.8E+00	< 4.4E+00
サイトバンカ建屋南西	2022/09/12 08:40	< 4.8E+00	< 5.6E+00	< 4.9E+00
焼却工建屋西側	2022/09/12 09:00	< 5.3E+00	< 4.7E+00	3.7E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/09/12 08:55	< 4.6E+00	< 5.3E+00	< 3.9E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/09/12 08:35	< 4.9E+00	< 5.7E+00	< 5.3E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読み。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

2022年9月13日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/09/12 07:36	5.5E+00	< 4.7E-01	3.9E+00
物揚場排水路	2022/09/12 07:41	< 3.0E+00	< 7.1E-01	1.5E+00
K排水路	2022/09/12 06:00	8.9E+00	< 5.5E-01	4.9E+00
BC排水路	2022/09/12 06:00	< 3.0E+00	< 6.3E-01	< 7.1E-01
D排水路	2022/09/12 07:07	< 2.8E+00	< 5.1E-01	< 6.8E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

・核種の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は0 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

6/13

2022年9月13日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 排水路流量と分析結果 (全β・H-3・γ)

採取地点	採取日時	降雨量 (mm/日)	流量 (m ³ /秒)	分析項目			
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/08/26 08:15	0.0	0.002	5.6E+00	—	< 7.5E-01	4.7E+00
	2022/08/27 07:31	4.0	0.002	7.0E+00	—	< 4.0E-01	7.8E+00
	2022/08/28 07:25	29.0	0.331	7.3E+00	—	< 5.0E-01	5.1E+00
	2022/08/29 07:50	0.0	0.002	4.2E+00	—	< 5.8E-01	3.7E+00
	2022/08/30 07:51	5.5	0.003	5.6E+00	—	< 5.5E-01	4.0E+00
	2022/08/31 07:45	3.5	0.003	5.1E+00	< 7.1E+00	< 7.0E-01	3.9E+00
	2022/09/01 07:35	0.5	0.002	8.9E+00	—	< 4.6E-01	4.2E+00
物揚場排水路	2022/08/26 08:10	0.0	0.006	< 3.1E+00	—	< 3.2E-01	1.4E+00
	2022/08/27 07:36	4.0	0.006	< 3.2E+00	—	< 6.0E-01	2.1E+00
	2022/08/28 07:30	29.0	0.115	1.8E+01	—	< 9.8E-01	1.5E+01
	2022/08/29 07:55	0.0	0.007	5.4E+00	—	< 4.7E-01	2.1E+00
	2022/08/30 07:47	5.5	0.006	3.5E+00	—	< 5.5E-01	1.8E+00
	2022/08/31 07:50	3.5	0.007	4.8E+00	9.8E+00	< 5.6E-01	2.9E+00
	2022/09/01 07:40	0.5	0.007	3.0E+00	—	< 6.5E-01	1.3E+00
K排水路	2022/08/26 06:00	0.0	0.012	8.6E+00	—	< 3.5E-01	4.7E+00
	2022/08/27 06:00	4.0	0.013	1.2E+01	—	< 5.8E-01	9.9E+00
	2022/08/28 06:00	29.0	0.157	3.9E+01	—	< 9.3E-01	3.6E+01
	2022/08/29 06:00	0.0	0.016	3.6E+01	—	< 6.8E-01	2.7E+01
	2022/08/30 06:00	5.5	0.015	1.3E+01	—	< 3.7E-01	9.7E+00
	2022/08/31 06:00	3.5	0.018	2.5E+01	8.5E+01	< 7.4E-01	2.4E+01
	2022/09/01 06:00	0.5	0.013	1.3E+01	—	< 7.9E-01	1.0E+01
BC排水路	2022/08/26 06:00	0.0	0.025	< 3.1E+00	—	< 6.9E-01	< 8.2E-01
	2022/08/27 06:00	4.0	0.032	3.3E+00	—	< 6.2E-01	< 6.3E-01
	2022/08/28 06:00	29.0	0.805	5.0E+00	—	< 4.2E-01	1.8E+00
	2022/08/29 06:00	0.0	0.025	< 3.1E+00	—	< 5.9E-01	< 6.1E-01
	2022/08/30 06:00	5.5	0.022	< 3.1E+00	—	< 3.9E-01	< 5.3E-01
	2022/08/31 06:00	3.5	0.016	5.7E+00	3.8E+01	< 4.1E-01	1.0E+00
	2022/09/01 06:00	0.5	0.002	4.6E+00	—	< 7.2E-01	< 7.5E-01
D排水路	2022/08/30 14:00	5.5	0.023	< 3.5E+00	—	< 4.5E-01	7.3E-01
	2022/08/31 06:30	3.5	0.020	< 3.0E+00	< 7.1E+00	< 4.4E-01	< 5.2E-01
	2022/09/01 06:30	0.5	0.024	< 2.8E+00	—	< 6.8E-01	< 7.6E-01
5,6号機排水路	—	—	—	—	—	—	

・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不符号 (<)：小なりは、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・流量以外は既にお知らせ済み。

・D排水路は8/30から通水およびサンプリング開始。

7/13

2022年9月13日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	その他の観測項目					Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	塩素 (ppm)
			Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)			
No.0-1	2022/09/12 07:12	1.1E+02	< 1.4E+00	< 2.2E+00	< 1.8E+01	< 7.1E+00	< 1.8E+00	< 2.7E+01	—	
No.0-1-2	2022/09/12 07:09	1.5E+01	< 2.5E-01	< 2.7E-01	< 2.8E+00	< 8.1E-01	< 2.6E-01	< 3.5E+00	—	
No.0-2	2022/09/12 07:22	< 1.4E+01	< 2.8E-01	< 2.9E-01	< 2.3E+00	< 8.7E-01	< 2.5E-01	< 1.1E+00	—	
No.0-3-1	2022/09/12 07:05	< 1.4E+01	< 2.8E-01	< 4.1E-01	< 2.9E+00	< 1.1E+00	< 3.9E-01	< 1.8E+00	—	
No.0-3-2	2022/09/12 07:02	< 1.4E+01	< 3.3E-01	< 4.0E-01	< 3.3E+00	< 1.2E+00	< 3.7E-01	< 8.5E-01	—	
No.0-4	2022/09/12 07:17	1.6E+01	< 3.2E-01	< 3.9E-01	< 2.7E+00	< 1.3E+00	< 3.6E-01	< 1.7E+00	—	
No.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-9 ^{*1}	2022/09/12 06:58	5.6E+01	—	—	—	—	—	—	9.5E+01	
No.1-11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

・検出限の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 未満) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および検出停止の項目は「—」と記す。

・0.0E+0とは、 0.0×10^0 であることを意味する。

〔例〕 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

※1 No.1-9は、採取器による採取であるため、V値は実値です。他の観測値として各観測に測定。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	分析項目					Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	塩素 (ppm)
			子の他、観測出被曝	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)			
1,2号観測ポイント 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2	2022/09/12 06:53	2.2E+02	< 2.5E-01	< 2.2E-01	< 2.2E+00	< 7.6E-01	8.7E-01	< 2.3E-01	—	—
No.2-2	2022/09/12 06:16	2.4E+02	< 1.4E+00	< 2.6E+00	< 1.8E+01	< 8.0E+00	7.5E+01	< 2.8E+00	—	—
No.2-3	2022/09/12 06:11	2.4E+04	< 3.8E-01	< 3.8E-01	< 3.8E+00	< 1.4E+00	3.8E+00	< 4.8E-01	—	—
No.2-5 *2	2022/09/12 06:07	3.6E+05	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-7	2022/09/12 06:50	4.1E+02	< 3.1E-01	< 3.9E-01	< 3.1E+00	< 1.2E+00	3.7E+00	< 3.3E-01	5.6E+02	—
No.2-8	2022/09/12 06:45	4.3E+03	< 3.0E-01	< 3.3E-01	< 3.2E+00	< 1.3E+00	1.7E+00	< 4.0E-01	—	—
2,3号観測ポイント 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-5 *2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3,4号観測ポイント 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—

・核種毎の半減期：Mn-54(約510日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約35年)、Sb-125(約370日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不審号 (< ; 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±Oとは、O.Ox10^{±O}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読み。

*2 No.2-5、No.3-5は、採水器による採取であるため、測定は参考値としての状態に測定。

9/13

2022年9月13日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所環境管理部

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目									
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)	
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	2022/09/08 08:53	2.6E+01	1.0E+04	< 3.8E-01	< 2.9E-01	< 3.4E+00	< 1.3E+00	< 3.5E-01	3.4E+00	-	
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-9 #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

・検体の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不審号 (<:小切り) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.E±Oとは、 $O.O \times 10^{O \pm O}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・H-3以外は塩素に分析せず。

※ 1 No.1-9は、取水器による採取であるため、測定は実施せず。全βは検出限界として記録に測定。

10/13

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目										塩素 (ppm)						
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他(検出限値)								
1,2号観測ポイント 汲み上げ水																		
No.2	2022/09/08 08:17	2.3E+02	2.7E+02	< 2.4E-01	< 2.7E-01	< 2.5E+00	< 8.1E-01	< 2.5E-01	< 4.7E+00									
No.2-2	2022/09/08 07:55	2.5E+02	2.6E+02	< 1.4E+00	< 2.2E+00	< 2.5E+01	< 8.7E+00	< 2.4E+00	8.0E+01									
No.2-3	2022/09/08 07:59	2.5E+04	2.7E+03	< 2.5E-01	< 2.3E-01	< 2.6E+00	< 9.2E-01	< 2.9E-01	4.7E+00									
No.2-5 #2																		
No.2-6																		
No.2-7																		
No.2-8	2022/09/08 08:24	3.7E+03	4.6E+02	< 3.6E-01	< 4.1E-01	< 3.4E+00	< 1.3E+00	< 3.6E-01	2.8E+00									
2,3号観測ポイント 汲み上げ水																		
No.3	2022/09/08 07:31	2.4E+02	2.7E+03	< 3.1E-01	< 4.4E-01	< 2.7E+00	< 1.2E+00	< 3.4E-01	9.5E+00									
No.3-2	2022/09/08 07:42	5.4E+02	7.5E+02	< 1.7E+00	< 2.2E+00	< 1.3E+01	< 5.4E+00	< 2.2E+00	7.7E+00									
No.3-3	2022/09/08 07:46	1.2E+03	1.7E+03	< 3.7E+00	< 6.8E+00	< 3.0E+01	< 1.7E+01	< 5.0E+00	9.6E+01									
No.3-4	2022/09/08 07:27	2.1E+01	3.6E+02	< 8.8E-01	< 1.3E+00	< 6.9E+00	< 3.7E+00	< 1.6E+00	1.2E+01									
No.3-5 #2	2022/09/08 07:23	3.6E+02	< 1.1E+02															2.4E+02
3,4号観測ポイント 汲み上げ水																		

検出限値の半減期: H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約70日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

不検出 (<) は検出限値を示す。

測定対象外および検出中止の項目は「-」とする。

○.0E+0とは、 0.0×10^{-4} であることを示す。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と表記。

H-3以外は既にお知らせ済み。

※2 No.2-5, No.3-5は、取水網による採取であるため、Y値は実測せず、全βは参考値としての値に測定。

11/13

2022年9月13日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/09/12 08:15	7.9E+00	< 7.2E-01	< 7.2E-01
1F 6号機取水口前	2022/09/12 08:01	< 1.3E+01	< 2.8E-01	< 2.9E-01
1F 物揚場前	2022/09/12 07:29	< 1.3E+01	< 3.1E-01	5.2E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/09/12 07:23	1.6E+01	< 2.5E-01	1.6E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (返水壁前)	2022/09/12 07:17	< 1.3E+01	< 2.9E-01	5.5E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/09/12 09:15	9.4E+00	< 7.2E-01	< 7.2E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/09/12 06:45	1.7E+01	< 3.2E-01	< 3.4E-01
1F 港湾中央	2022/09/12 06:39	< 1.0E+01	< 2.3E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内東側	2022/09/12 06:41	< 1.4E+01	< 2.2E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内西側	2022/09/12 06:37	< 1.4E+01	< 2.7E-01	< 3.3E-01
1F 港湾内北側	2022/09/12 06:35	< 1.4E+01	< 3.1E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内南側	2022/09/12 06:43	< 1.4E+01	< 2.4E-01	< 3.5E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2022/09/12 06:57	1.4E+01	< 2.8E-01	< 3.5E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2022/09/12 07:02	< 1.3E+01	< 1.8E-01	< 2.9E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2022/09/12 07:47	< 1.3E+01	< 2.5E-01	< 3.1E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2022/09/12 07:41	< 1.3E+01	< 3.1E-01	< 2.8E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2022/09/12 07:36	< 1.3E+01	< 2.9E-01	< 2.9E-01
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

12/13

2022年9月13日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/08/17 08:17	9.6E+00	3.8E-01	< 6.8E-01	< 8.2E-01
1F 6号機取水口前	2022/08/17 07:58	2.0E+01	< 2.6E+00	< 2.6E-01	< 3.0E-01
1F 物揚場前	2022/08/17 07:25	1.4E+01	< 1.9E+00	< 2.5E-01	< 3.1E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/08/17 07:20	2.0E+01	5.8E+00	< 2.6E-01	2.5E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (遊水壁前)	2022/08/17 07:15	< 1.2E+01	3.8E+01	< 3.0E-01	3.8E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/08/17 09:15	1.1E+01	< 3.1E-01	< 8.3E-01	< 7.9E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/08/17 07:15	< 1.4E+01	6.3E-01	< 2.5E-01	< 2.4E-01
1F 港湾中央	2022/08/17 07:09	< 1.4E+01	2.5E+00	< 3.4E-01	4.9E-01
1F 港湾内東側	2022/08/17 07:11	< 1.5E+01	< 1.9E+00	< 2.3E-01	3.1E-01
1F 港湾内西側	2022/08/17 07:07	< 1.5E+01	< 1.9E+00	< 2.4E-01	3.0E-01
1F 港湾内北側	2022/08/17 07:05	< 1.5E+01	< 1.9E+00	< 2.8E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内南側	2022/08/17 07:13	< 1.5E+01	< 1.9E+00	< 3.1E-01	2.7E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2022/08/17 07:41	< 1.2E+01	< 3.8E-01	< 2.9E-01	< 3.9E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2022/08/17 07:45	< 1.2E+01	< 3.5E-01	< 2.8E-01	< 2.9E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2022/08/17 08:32	< 1.2E+01	< 3.1E-01	< 2.9E-01	< 3.1E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2022/08/17 08:26	1.7E+01	< 3.5E-01	< 2.6E-01	< 3.0E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2022/08/17 08:21	< 1.2E+01	< 3.5E-01	< 3.1E-01	< 2.5E-01
WHOの飲料水水質ガイドライン*1			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

* 核種毎の半減期: H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

* 不符号 (<: 小なり) は, 検出限界値未満 (ND) を表す。

* 測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

* 0.0E±0 とは, 0.0×10^{±0}であることを意味する。(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

* 物揚場前は, シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。

* T-0-1, T-0-1A, T-0-2, T-0-3A, T-0-3のH-3以外は既にお知らせ済み。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける, H-3, Cs-134, Cs-137の指標

* 分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※ 試料採取作業の安全確保ができないため, 採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

13/13

2022年9月13日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目				
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 γ核種
一時貯水タンク (サンブルタンク)	H 2022/09/09 07:52	780	東京電力 東北緑化環境保全 (株)	< 5.9E-01	8.7E+02	< 7.3E-01	< 5.4E-01	検出なし
				< 3.5E-01	9.2E+02	< 5.8E-01	< 7.4E-01	検出なし
	運用目標			3.0E+00 (1.0E+00) *1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと*2
	告示濃度限度*3				6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	
	WHO飲料水水道ガイドライン				1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	

・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値 [1Bq/L未満] を確認する測定にて検出されないこと (天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度 (別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23989報)

2022年9月13日14時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第23960報他でお知らせしたとおり、3号機の原子炉注水設備においては、9月6日および9月7日にかけて、$3.5\text{ m}^3/\text{h}$まで原子炉注水量を増加させ、原子炉格納容器の水位の上昇を行ってまいりました。</p> <p>原子炉格納容器の水位が想定した水位(水位計L1+300mm)に到達することから、原子炉への注水量を以下のとおり変更します。</p> <p><原子炉注水量変更予定> 原子炉注水量 : $3.5\text{ m}^3/\text{h} \rightarrow 3.0\text{ m}^3/\text{h}$</p> <p>また、今後、水位の傾向を見ながら微調整のための流量調整($-0.3\text{ m}^3/\text{h} \sim +0.3\text{ m}^3/\text{h}$程度)を行います。</p> <p>流量調整を実施した際には、実施の都度、流量調整の実績をお知らせします。</p> <p>引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視してまいります。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23990報)

2022年9月13日16時05分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第23983報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクFに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 10時28分 ・排水終了 : 14時43分 ・排水量 : 633m³ <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分: E】</p>
その他の事項の対応(注3)	※添付の有り (無し)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23991報)

2022年 9月13日 17時05分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要 (注2)	(対応日時, 対応の概要) 第23986報他でお知らせした、増設ALPS(C)における水溜まりの発見について、その後の状況をお知らせします。 16時08分、水溜まりの拭き取りが完了いたしました。 【公表区分：C統】
その他の事項の対応 (注3)	なし

※添付の有り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。